

国民の皆様の声・集計報告票

平成22年6月1日～6月4日受付分

担当部

企画調整部企画課 国民の皆様の声担当
(03-3506-9600)

国民の皆様の声 把握方法別件数	来訪	電話	手紙	FAX	メール	合計
	1件	11件	1件	1件	1件	13件

国民の皆様の声の 内訳(大分類)	制度に関する提言	2件
	制度の実施に関する提案(職員等の接遇問題を含む)	2件
	法令遵守違反に関するもの	1件
	その他	8件

(主な国民の皆様の声)

項番	内容	対応の方向
1	ある医療機器について、製品ではなく使用方法の問題とされており、不具合報告がされていない。同様の事例が頻発していると聞いているが、使用方法の問題とするのはいかがなものか。	内容について担当部署で確認中です。
2	安全対策等拠出金と国からのお金とを区分して経理すべきと考えている。PMDAは、安全対策等拠出金を零細事業者から徴収するだけでなく国から税金を回してもらって、役員の高い給与・退職金、一等地のビル借料、銀座での飲食費など無駄遣いをしているのではないか。	企業からの拠出金及び国からの補助金や運営費交付金については、目的や用途に応じて支出を区分して管理しております。 PMDAでは、各種コストの削減目標を立てるなど、無駄削減の取組を一層強化しており、無駄遣いのないよう鋭意取り組んでいるところです。
3	出産時に出血多量で母子手帳に輸血の記録はあるが、病院は廃院しカルテがない。肝ガンにまで進行している。注射針の使い回しによりB肝に感染した人の救済や、子ども手当支給をするのであれば、私達みたいな人にも手厚い対応してほしい。	特定C型肝炎の救済制度の概要及び、給付金の支払いについて説明しました。 また、国に直接連絡したいということで、厚生労働省のフリーダイヤルをご案内しました。
4	主治医は薬の副作用を認めてくれない。患者から国へ直接的な副作用報告はできないのか。今のままでは正確な副作用情報が集まらず、患者は不利のままである。	患者からの副作用報告制度の構築については厚生労働省とPMDAで検討中であることを説明するとともに、厚生労働省に伝えました。
5	後発医薬品の処方希望したが、ある調剤薬局では在庫がなく、後発医薬品は効果がないと説明を受けた。しかし、次の薬局では説明を受け、調剤してもらった。前記の薬局は後発医薬品について間違った説明をしているのではないか。薬剤師会へ伝えたい。	後発医薬品についてご説明するとともに、日本薬剤師会を紹介しました。
6	ジェネリック医薬品希望カードが送付されてきたが、自分で処方依頼できるため、カード送付は無駄だと思われる。	後発医薬品についてご説明するとともに、貴重なご意見として、厚生労働省に伝えました。
7	保険組合より後発医薬品への変更のお願いが来たため、後発医薬品へ変更し、服用した。しかし、効果がなく結局先発医薬品へ戻した。後発医薬品の品質は悪いのではないか。	後発医薬品についてご説明するとともに、貴重なご意見として、厚生労働省に伝えました。
8	医療機関の選び方やかかり方等について相談したい。	各都道府県に設置されている相談センター等を紹介しました。
9	インスリンの長期投与における安全性を懸念している。企業、大学まで確認したが満足する回答は得られなかった。β細胞の安全性はどうなっているのか。長期投与制限をしない理由を知りたい。	医薬品の安全性に問題があれば、国に報告される制度があること、その内容によって何らかの制限をすべきと判断されれば制限が付される仕組みになっていることを説明しました。また、インスリンの長期投与に関する懸念については、貴重なご意見として、厚生労働省に伝えました。

10	血圧を毎日測定するよう医師から指示を受けている。生活保護を受けており、血圧計購入が厳しい。区役所に相談しても1ヶ月以上回答がない。行政の対応の悪さに不満である。厚生労働省の対応部署に相談したい。	PMDAでは厚生労働省の対応部署が分からなかったため、厚生労働省の電話交換手の方に所管部署をご確認頂くようお願いし、厚生労働省の代表番号をお伝えしました。
----	---	---